

建設常任委員会資料

令和7年2月28日

(2025年)

まちづくり活性部新名神推進課

新名神高速道路の進捗状況について

新名神高速道路（大津～城陽間）の工事進捗状況について、次のとおり報告します。

令和 6 年 12 月 24 日
西日本高速道路株式会社

報道関係各位

E1A 新名神高速道路 大津 JCT(仮称)～城陽 JCT・IC 間 連絡調整会議(第3回)の開催結果について

本日開催した E1A^{しんめいしんこうそくどうろ}新名神高速道路 大津^{おおつ}ジャンクション(JCT)(仮称)～城陽^{じょうよう}JCT・インターチェンジ(IC)間の連絡調整会議(第3回)の開催結果をお知らせします。

1. 開催日時

令和 6 年 12 月 24 日(火曜) 13:30 ～ 14:30

2. 開催場所

西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神京都事務所 会議室

3. 議事概要(別紙 1)

主な議事内容

- ・全線にわたって土工やトンネル、橋梁工事に着手している状況。
- ・工事進捗に伴い課題のあった信楽川橋では、橋脚の工事が完了し、上部工工事を推進中。
- ・城陽スマートIC部では、引き続き地盤改良工を実施している状況。
- ・宇治田原IC部では、山砂利採取後の埋戻し箇所において、切土工事に伴うコンクリート殻などが想定以上に発現していること、また、粘性土を多く含んでいることから、一般的な切土工事に比べて非常に多くの時間を要しており、引き続き工事の進捗の確認が必要な状況。
- ・以上のことから、引き続き工程精査を継続しつつ、工事の安全を最優先に1日も早い開通を目指す。

4. 説明資料(別紙 2)

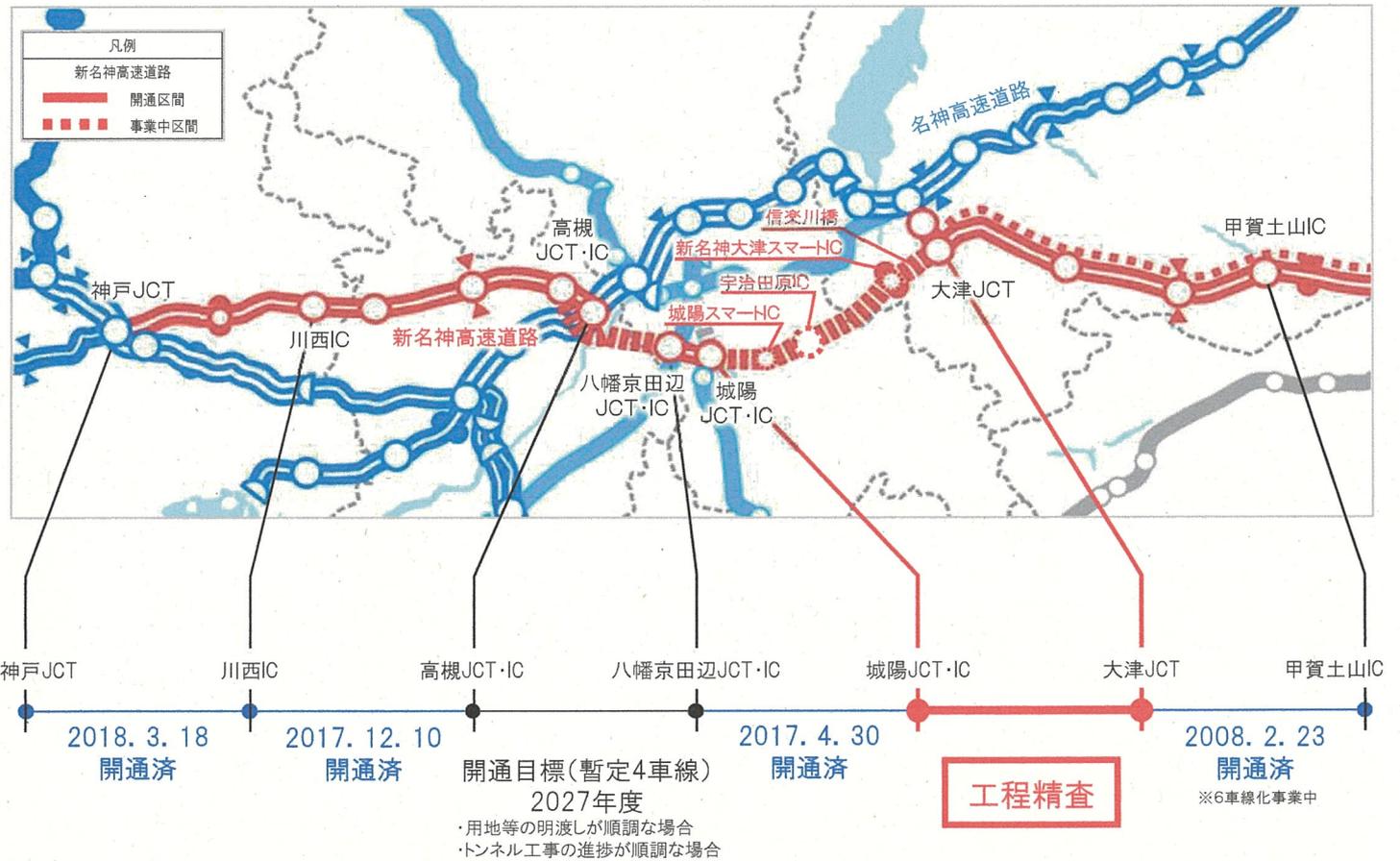
この記者発表資料に関するお問い合わせ先

NEXCO 西日本 関西支社 広報課 担当/溝尻、富樫、正村、中村、小北 TEL. 06-6344-9376(マスコミ専用)

※本資料は、近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪建設記者クラブ、大阪商工記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、京都府政記者クラブにお配りしています。

(1) 事業概要

- 大津JCT～城陽JCT・IC間の延長25.1kmにおいて事業中
- 当該区間は、土工区間が約6割、橋梁区間が約3割、トンネル区間が約1割である。滋賀県域では山間部及び多数の河川が通る急峻かつ狭隘な山岳地形の中、大規模な橋梁やトンネル工事を推進中。また、京都府域では、2つのインターチェンジがあり、大規模な土工やトンネル工事を推進しているほか、平野部においては、国道の近接や鉄道等が複数交差している中、大規模な橋梁工事を推進中
- 令和6年1月に全ての用地引渡しを受け、全線に渡って鋭意工事を進めている状況



※本資料の事業中区間におけるJCT・IC及び構造物名称は仮称を含む

(3) 工事進捗状況 <信楽川橋>

- 硬岩の発現により時間を要していたP4橋脚について、令和6年2月に基礎杭の構築が完了し、橋脚工事に着手
- 現在、全ての橋脚工事が完了しており、上部工の工事を推進中

<位置図>



<P4橋脚基礎杭(硬岩部)の非火薬発破後の小割作業状況>



<P4橋脚基礎部の掘削完了状況>



信楽川橋の状況(2024年11月撮影)



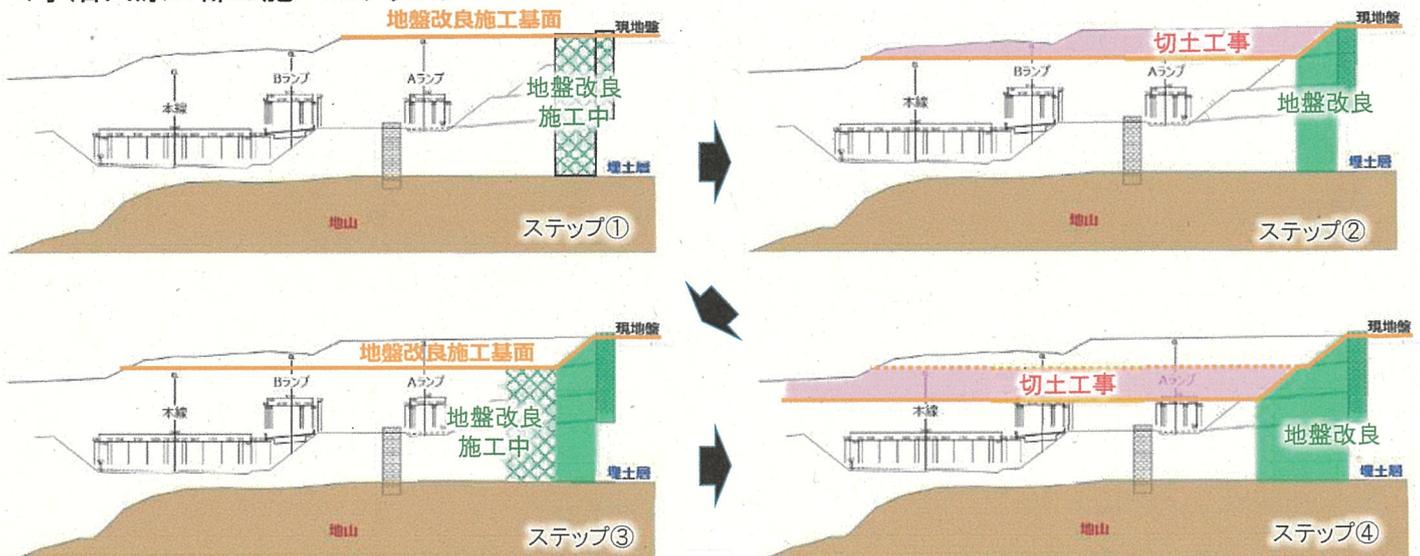
(3) 工事進捗状況 <宇治田原インターチェンジ>

- 令和6年1月に用地の引渡しを受け、調査および工事に着手
- 山砂利採取後の埋戻しが広範囲かつ軟弱な地盤であることから、有識者を含めた検討会により施工方法等の検討を実施
- 上記検討の結果、将来、安全な切土のり面とするため、宇治田原IC部については、地盤改良と切土工事を繰り返し行いながら本線の構築を行う計画

<位置図>



<宇治田原IC部の施工ステップ>



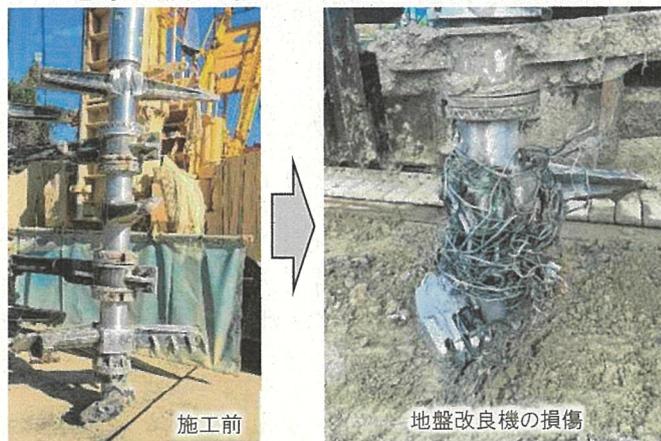
(3) 工事進捗状況 <宇治田原インターチェンジ>

- 事前調査により局所的に確認されていたコンクリート殻等が想定以上に発現していることに加え、粘性土を多く含んでいることから、石灰混合により改質したのち、分別する作業を行うなど、通常の切土工事に比べ非常に多くの時間を要している状況
- 今後の工事において、コンクリート殻等の混入状況が不明であること、また、地中の混入物により、地盤改良の進捗に大きな差が生じたり、機械が故障するなどの事象も発生していることから、引き続き工事の進捗の確認が必要

<改質および分別作業状況>

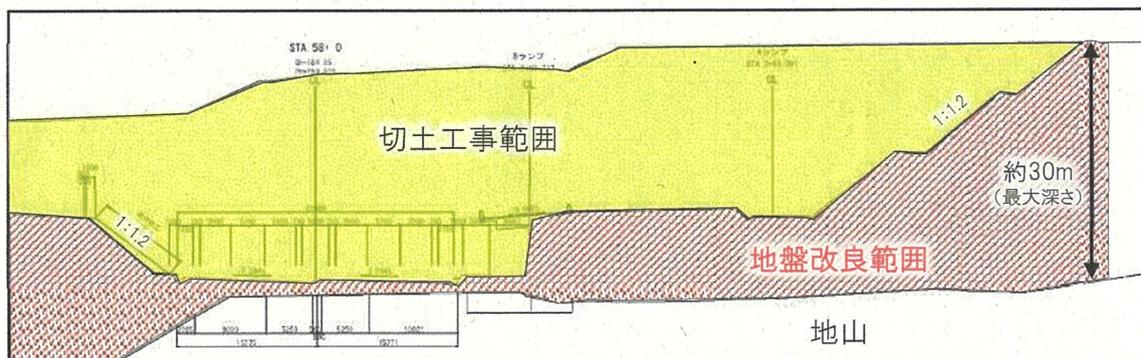


<地中の混入物による地盤改良機の損傷>



※コンクリート殻等は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適切に分別および処分

<切土工事及び地盤改良範囲(イメージ)>



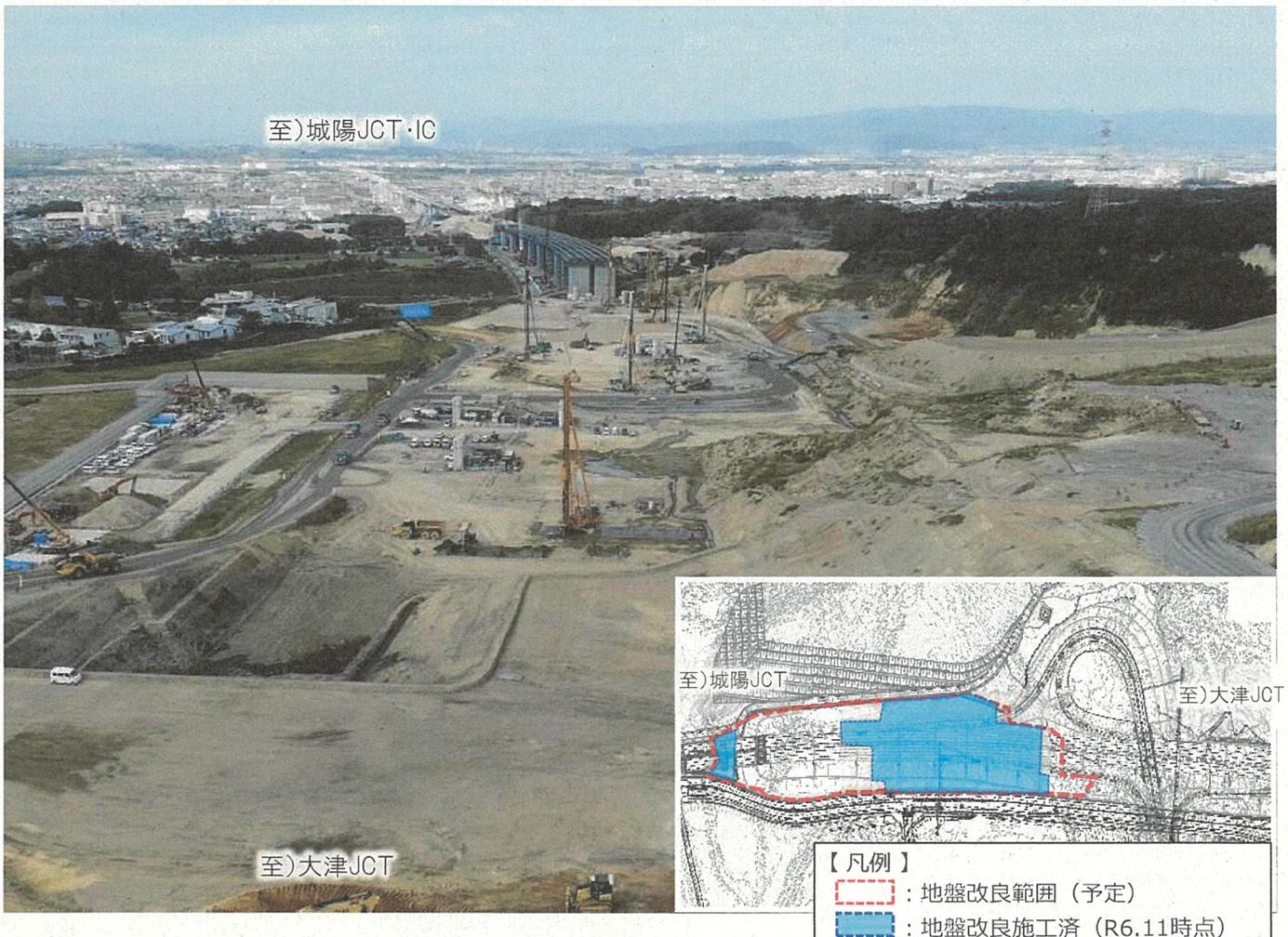
(3) 工事進捗状況 <城陽スマートインターチェンジ>

- 山砂利採取後の埋戻し箇所について、地盤改良範囲が大幅に増加したため、工事に時間を要している状況
- 現在、地盤改良工事は、約7割程度進捗している状況
- 地盤改良が完了したのち、盛土工事を実施予定

<位置図>

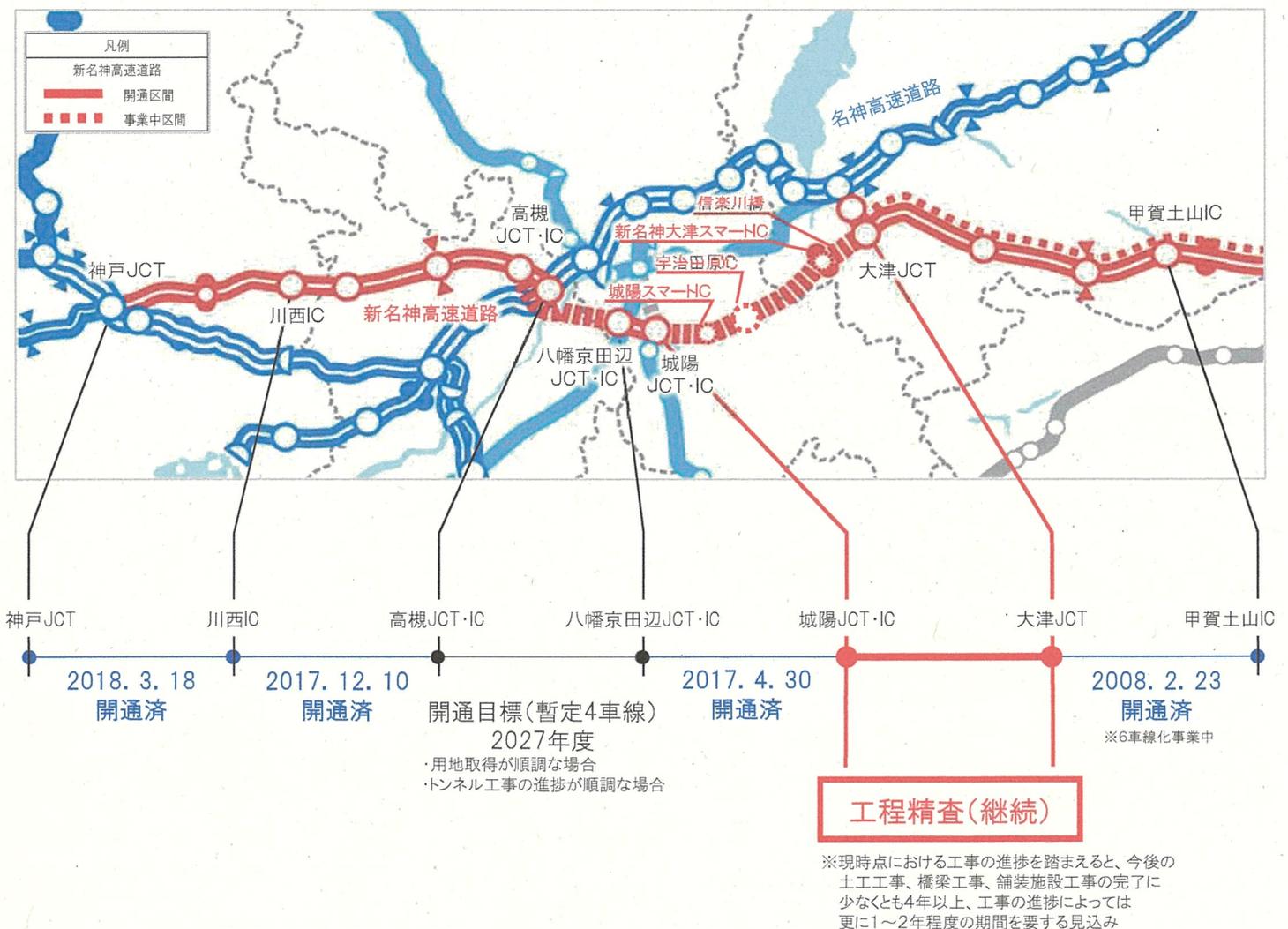


<地盤改良状況>



(4)まとめ

- 大津JCT～城陽JCT・IC間は、全線にわたって土工やトンネル、橋梁工事に着手している状況
- 工事進捗に伴い課題のあった信楽川橋では、橋脚の工事が完了し上部工工事を推進、城陽スマートIC部では、引き続き地盤改良工を実施している状況
- 宇治田原IC部においては、山砂利採取後の埋戻し箇所について、切土工事に伴うコンクリート殻等が想定以上に発現していること、また、粘性土を多く含んでいることから、一般的な切土工事に比べ非常に多くの時間を要しており、引き続き工事の進捗の確認が必要
- 以上のことから、引き続き工程精査を継続しつつ、工事の安全を最優先に1日も早い開通を目指します。



城陽市東部丘陵地のまちづくり

